

第 42 回企画展「祭りを巡る」

とらや 東京ミッドタウン店ギャラリーでは、7 月 17 日(水)～12 月 2 日(月)の期間、日本の祭りにスポットを当てた企画展を開催いたします。各地で行なわれている祭りの様相や祭りに関わる菓子などをご紹介します。期間中は、祭りにちなんだ菓子も販売いたします。



春：「貧乏神送り」より

■概要■

日本では、10 万ともいわれる数の祭りが 1 年を通し各地で行われています。日本に暮らすわたしたちにとって祭りは、とても身近な存在であるといえるでしょう。日本の祭りは、身近な自然へ祈りや感謝を伝える儀式と、見学者の誰もが気軽に参加し楽しめる催しという 2 つの側面を併せ持っているともいわれます。

楽しめる催しとしての祭りが人気を集めている一方で、祭りが持つ儀式としての意義を理解することが、今あらためて重要視されています。

本展では、現在も各地で行われている素朴で原初的な祭りに焦点を絞り、12 の地域の特徴的な祭りを民俗学者の畑中章宏氏による解説・写真と共にご紹介いたします。またその中より、長野県松本市入山辺は厩所地区にて江戸時代以来 300 年以上続いてきたとされる「貧乏神送り」に用いられる藁の依り代の実物も展示。祭りにちなんだ菓子のイラストレーションも、あわせてお楽しみいただけます。

それぞれの土地柄や独自の生活様式に基づく祭りの姿から、わたしたち一人一人が構成する日本文化の多様性と底流する共通性を再発見していただけたら幸いです。

■基本情報■

名 称 : 第 42 回企画展「祭りを巡る」
会 期 : 2019 年 7 月 17 日 (水) ～12 月 2 日 (月)
時 間 : 11 : 00～21 : 00 (店舗営業時間と同じ)
場 所 : とらや 東京ミッドタウン店内ギャラリー
(東京都港区赤坂 9-7-4 D-B117 東京ミッドタウン ガレリア地下 1 階)
電話番号 : 03-5413-3541
企画協力 : 畑中章宏氏 (作家・民俗学者)

■展示の具体例■

壁面では、畑中氏による日本の祭りについての解説や、民俗学者の柳田國男や折口信夫が残した祭りに関する言葉を紹介します。

中央の展示台では、12の地域の祭りの写真や、「貧乏神送り」で使用される藁の依り代を展示します。

また、「水無月」や「亥の子餅」など、祭りに関わりのある菓子を、大塚いちお氏によるイラストレーションと共に紹介します。



水無月



亥の子餅



春：「鳥追い」より

■販売品の一例■



『お火焚饅頭』(白皮：御膳餡入 紅皮：小倉餡入)

お火焚は旧暦 11 月に行われる火祭で、火焚祭、韃（ふいご）祭ともいい、火を焚いて豊作、無病息災、家内安全を祈る催しです。神社ほか料理屋、鍛冶屋など火を使う業種でも行われています。この時、蜜柑やおこしと共に振舞われるのが『お火焚饅頭』で、とらやでは、生地に小麦粉を使った「新饅」の上に宝珠の焼き印をほどこしています。

【販売期間】10月16日（水）～11月10日（日）

【内容量】NET 50g（1個） ※紅白2個入りを1箱とし、各日、数量限定で販売いたします。

【価格】1箱（紅白2個入） 756円（本体価格 700円）

■企画協力（敬称略）■

畑中章宏（はたなか あきひろ）

作家・民俗学者。大阪府大阪市生まれ。古の伝承から流行の最先端まで「市井の民俗学者」として幅広い対象の研究に取り組む。著書に『死者の民主主義』（トランスビュー）、『21世紀の民俗学』（KADOKAWA）、『天災と日本人』（ちくま新書）など。



【とらや 東京ミッドタウン店】

和菓子だけではなく、和の様々な魅力や価値も広くお伝えしたいという思いから、ギャラリーを併設し企画展を開催しています。思いを同じにする方とパートナーを組み、ふろしきや漆、磁器などをテーマに、これまで企画展を実施してまいりました。

これからも、日本文化を今の時代にあった新しいかたちで発信していきます。



<取材に関する問い合わせ先>

株式会社虎屋 社長室 広報 東京都港区元赤坂 1-2-7 赤坂 K タワー7 階 担当：早瀬寛太
電話：03-3408-4128 / FAX：03-3408-6274 メール：kouhou@toraya-group.co.jp